

2020年度第4回10月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2020年10月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、
意見・感想を返信してもらう形式で開催
3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	河又弘子
	委員	白幡冬彦
	委員	古口 悟
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二
	委員	大森玲子

4. 議 題

(1) マリコのクラシックガーデン

「吹奏楽部の演奏放送します」について

ディレクター／アナウンサー 福嶋真理子

(2) その他

5. 議事内容

(1) マリコのクラシックガーデン

「吹奏楽部の演奏放送します」について

ディレクター／アナウンサー 福嶋真理子

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：コロナ渦の中、音楽をはじめ舞台芸術も大きな影響を受けた。吹奏楽のコンクールも中止になり、発表の機会を失った。練習した成果を発表できる機会を作れないかという思いから企画した。小・中・高・大・社会人まで、栃木県内で活動しているすべての吹奏楽部・楽団で今年演奏し各団体で録音した音源を提供してもらって放送するとした内容。

各委員からは、

- 引退する学生に得難いチャンスを与える素敵なお配慮。練習の成果を発表する機会を作られた見事な企画はとても素晴らしい。高校生による「マーキュリー」や「ロマネスク」の演奏は新鮮に聞こえ、気持ちが高揚してくるのを感じた。これからの大いに進めてほしい。
- 練習の成果を発表する機会がないまま、卒業を迎える生徒たちにとって思い出に残る、励みになる良い企画。初めての試みで仕方ないが、アマチュアの演奏のみを聞き続けるのは単調とも受け取られる。インタビューや複数の団体の演奏を組み合わせるなど、少し変化を持たせた構成となればもっと良くなると思う。
- こうした発表の場を設けることができるのはラジオだからこそできるものと改めて感じ、意義深いと思った。もっとインタビューのような形にした方が生々しさが伝わったのではないか。発表の場がないまま卒業し学校を去ることになる生徒のことを考えるとクラシック番組のコーナーよりも専用の番組として多くの学校や生徒の発表の場を提供しても良いと思う。吹奏楽部だけでなく、合唱などその他の音楽活動にもこうした機会があると良い。
- この番組は他人事とは思えず共感している。各学校から募集中とのことだが、コロナ渦の中、吹奏楽部に所属する生徒のモチベーションを上げるためにも、この番組がもっと盛り上がれば良いと思う。
- 演奏会が聞けない現在、このような場を設けることはとても意義あることで、とても良い企画。吹奏楽部の人たちにとって練習の成果を届けることができるだけでなく、そのような場が設けられたということに気持ちの上でも暖かいものを感じられたのではないか。子供たちにとって心を育てる良い機会だ。

- 学生の思いを放送したことは、多くの県民に聴いてもらえるとともに、音源として残るなど、違った形で学生の思い出作り、勇気づけになった企画だ。コンクールと同じように曲を紹介したのは粋な計らいだ。吹奏楽以外でも発表の機会を失った学生・社会人の方々が多くいると思う。ラジオを通じて発表できる機会を出来るだけ多く作ってほしい。
- 音楽なら放送で発表する機会を作ることができ、リスナーも応援できる。ラジオの特性を生かしたい企画だ。番組の前半が通常通りだったが、コロナ渦の応援企画であるなら高校の演奏を前にした方が良かったのではないか。せっかくの発表の機会なら、インタビューなどを曲の間にふんだんに挟んで欲しい。それぞれの特徴を浮かび上がらせるためにも取材したり感想を述べたりする必要があるのではないか。
- 頑張ってきた子供達の思いに手を差し伸べるという役割を果たせたと思う。ラジオを通して自分の演奏を聴くことができることで救われたのではないか。家族にも聴かせることができ良い思い出になった。半年間という長い期間で予定していることも良い。
- 前半の通常番組が後半へのつながりになって良かった。吹奏楽部の演奏は音質が素晴らしく調和がとれていることに感動した。最高学年の生徒は文科系だけでなく運動系も喪失感がいっぱいだったようだ。発表の場を企画したことで児童生徒の集大成の場となっただけでなく、本人や取り巻く方々がラジオを聴く契機になった。今後も音楽に関わる児童生徒を励ます企画を期待している。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(2020年11月8日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(2020年11月10日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(2020年11月10日～)

以上